

仙台市議会は12日、一般会計の総額で5770億円余りの新年度・令和3年度予算が可決・成立しました。新年度予算には、新型コロナウイルス対策として、自宅を療養している患者への食料品などの支援や、妊産婦を対象にしたPCR検査費用の助成費用などが盛り込まれています。自然豊かな市の強みを生かし、景観と建築物の調和のとれた都市空間を作ることなどを盛り込んだ、今後10年間の市の基本計画も可決。そのような中、仙台港周辺の整備を求め、予算審査特別委員会においては高砂地区における冠水対策についての予算に関して質疑をしました。

2月17日 本会議一般質問

～東北各地から訪れる仙台港周辺の開発について～

整備中の高砂中央公園に魅力的な遊具を！

東北初のインクルーシブ遊具の設置を提案！

答弁（郡市長）高砂中央公園がご覧になります仙台港周辺エリアは新たな基本計画におきましまして集客力の高い民間施設との連携により回遊性を高めるエリア一帯となった魅力の向上に取り組む地区と位置づけられています。このエリアのまちづくりに欠かすことができない高砂中央公園は幅広い年代の方々から親しんでいただけたらいい総合公園として現在様々なイベントに利用できる多目的広場また、子どもたちが楽しむことができる遊びの広場の整備をすすめていくところがございます。この遊びの広場には大型遊具や子どもたちが人気の高いふわふわドームの設置を予定しているところがございます。ご提案のインクルーシブ遊具の導入につきましては、障害の有無にかかわらず全ての子どもたちがともに学ぶという観点から、障害に対する理解を深めるうえでも大変有用であろうと考えております。車椅子を利用するお子様も一緒に遊ぶことができると、一定の広さを確保する必要があります。また、この公園は令和5年度に開催致します、全国都市緑化フェアの東部エリアの会場の一つとしております。ここでは海岸公園等とあわせまして東日本大震災で失われました東部沿岸地域の緑の復興をアピールするともに家族連れで楽しめる場所も活用してまいります。フェアの終了後におきましても、引き続き、野球場やテニスコート等の公園施設の整備を着実にすすめてまいりまして仙台を代表する交流と賑わいの拠点をなるべく早期の完成を目指してまいります。

～高砂中央公園整備事業～

高砂中央公園は震災後に初めて新規に整備する大規模公園であり、レクリエーションや環境、防災等の機能を備えた仙台市東部地区を代表する「緑の拠点」となり、新たな交流を創出することで、震災からの復興を担う公園として整備を行います。公園には水族館が配置されており、今後、芝生広場や多様な運動施設を整備するほか、子どもから高齢者まで多様な世代が親しみ、快適に過ごすことができる交流とにぎわい空間を創出します。

（写真左）設置予定のふわふわドーム

（写真右）インクルーシブ遊具は障害の有無に関わらず全ての子どもが遊べる遊具です。昨年、全国に先駆け東京都が世田谷区立公園に導入。（写真は米国フロリダ州の公園）



2月17日 本会議一般質問
泉道塩釜互理線の渋滞解消を！

蒲生、南蒲生、新浜地区の皆さまへ

質問 仙台港と仙台空港を結ぶ泉道塩釜互理線については、仙台港付近の高砂橋から南蒲生まで、時間によって新浜地区まで渋滞が続いております。地元町内会では、復興事業の車両が少なくなれば渋滞も解消するだろうと期待しておりますが、復興工事の車両が少なくなった今でも渋滞は解消されず、逆に蒲生地区の立地する企業の多くが物流業者である状況を見ると、今後益々渋滞が悪化するのではないかと心配する声が増えてきています。同時に、仙台港周辺の物流業者からも仙台空港との行き来において、時間帯によってはあの箇所ですら10分程度ロスしているとの不満の声が聞こえてきております。地元の意向やそのして、物流の効率化の為に渋滞解消に向けて取り組んでいきたいと思う。

本会議一般質問動画



答弁（建設局長）泉道塩釜互理線の渋滞解消への取り組みに関するお尋ねにお応えします。泉道塩釜互理線は仙台港と仙台空港を結ぶルートでございます。物流上重要な道路となっております。この道路では高砂橋交差点や、その前後の交差点におきまして時間帯により渋滞が発生しております。その要因としては交差点の幅が短く、信号が連続することや右折待ちの車により直進できない状況等が考えられます。ご指摘の渋滞区間につきましては高砂橋南側の市道編入との交差点で、現在右折レーンの整備を進めております。これに加えまして今後、交通状況の分析を行いまして円滑な交通を確保するための関係機関と連携をしながら検討してまいります。

～高砂地区に係る主な令和3年度事業～

- ◆JR福町駅自由通路等検討調査
- ◆海浜エリア活性化（震災メモリアルスポット魅力発信、維持管理、環境整備）
 - 東部沿岸地域において、東日本大震災の記憶の継承と発信を行うとともに、地域の豊かな自然等魅力ある資源を活用するほか、沿岸部各地の特性、魅力をネットワーク化させることにより、同地域の持続的な賑わいづくりを進める。
 - ①震災メモリアルスポット魅力発信
 - ②「新浜みんなの家」「なかの伝承の丘」などの活用・発信を支援するとともに、貞山運河跡への桜植樹等のあらたな名所づくりを進めるほか、日和山周辺への公衆トイレ設置の為の設計等、多くの方が訪れやすい環境の整備を行う。
 - ③賑わい創出に向けた調査及び意見交換会の実施
- ◆道路施設における浸水対策（中野栄地区側溝改修）
 - 浸水エリアにおけるスポット対策を早期に実現することで、道路冠水による事故や周辺住宅への浸水被害軽減を図る。
- ◆農業施設における浸水対策（梅田川境堀排水樋門改修）
 - 農業排水を起因とする浸水エリアに対して、スポット対策を行うことで、周辺農地や住宅地の浸水被害の軽減を図る。
- ◆道路新設改良（鍋沼線歩道整備）
- ◆公園整備（高砂中央公園整備）
- ◆西原雨水ポンプ場（ポンプ場建設工事）
- ◆蒲生北部地区復興再整備

～裏面～令和3年度の仙台市の冠水対策について

冠水対策の優先整備地区は？ その地区に対する整備の進捗は？ 郡市長！対策大丈夫？

福室、高砂、白鳥、栄、福住町、仙石、田子地区の皆様へ

質問 下水道事業会計予算中の雨水排水施設の整備に関連して伺います。令和元年東日本台風の後、雨水排水施設の整備に何回もさされておりましたが、その都度、頂くご答弁は、「雨水排水施設整備とその財源確保について、より一層取り組んでいく」という内容でございます。そこで今回の雨水排水施設の整備に関する予算に、近年の予算を含めお示しください。令和元年台風が東日本台風が襲う前に予算化した令和元年度予算を含め、そして今年度の令和元年度予算、そして次年度の令和元年度予算金額をお示しください。

答弁 (下水道計画課長) 雨水排水整備にかかる近年の予算額は、令和元年度当初予算が17億7,500万円、令和2年度が17億9,900万円、令和3年度が20億2,100万円です。

質問 雨水排水施設の整備については、重要度が高い地域から対応していただくことになっておられると思いますが、優先的に整備を行う地区を具体的に示してください。

答弁 (下水道計画課長) 令和元年東日本台風等これまでの浸水被害を踏まえ、そのリスクを評価した結果に基づき**仙台東西口、及び東口地区、宮城野区白鳥地区、福住町、仙石地区等**において雨水排水施設の整備を優先的に進めます。

質問 雨水排水整備の指標としております、十年確率降雨に対応した整備率は現在、35.7%という状況でございます。こちらは全市的な面積に対する整備率でございますので、この整備率を上げていくと相当な期間を要することが想定されます。そのため、整備率の進捗を求めるといよりは、浸水被害が多く発生する地域、リスクの高い地域から集中して優先すべきと考えます。そこで、他と比較しても整備を優先的に進めなければならないと、本市が認識している、今ほど示して頂いた地域の中で、増設や計画予定のポンプ場をお示しください。

西原雨水ポンプ場



(写真 稼働中のポンプ2機)

白鳥、高砂、福室地区の雨水を仙台東に排水する蒲生にある西原雨水ポンプ場は4機設置でき、そのうちの残り2機の増設を進めております。

答弁 (下水道計画課長) 白鳥地区につきましては西原雨水ポンプ場の増設を予定しております。また、福住・仙石地区では小鶴雨水ポンプ場の建設を計画しております。

質問 その白鳥を含め、高砂、福室等の排水区の冠水対策として期待されている西原雨水ポンプ場の増設について伺います。この施設の整備に対する令和3年度予算の詳細について伺います。

答弁 (下水道計画課長) 西原雨水ポンプ場の増設につきましては、引き続き増設にかかる設計を進め土木工事に着手する予定としております。

質問 その西原雨水ポンプ場が完全に稼働するのは最速でいつになるのか、具体的に令和何年稼働する予定で進めているのかをお示しください。そして、それが稼働するまでの応急的な対応をどうするつもりなのか伺います。また、この福室排水区に隣接する栄地区の対応についてもお示しください。

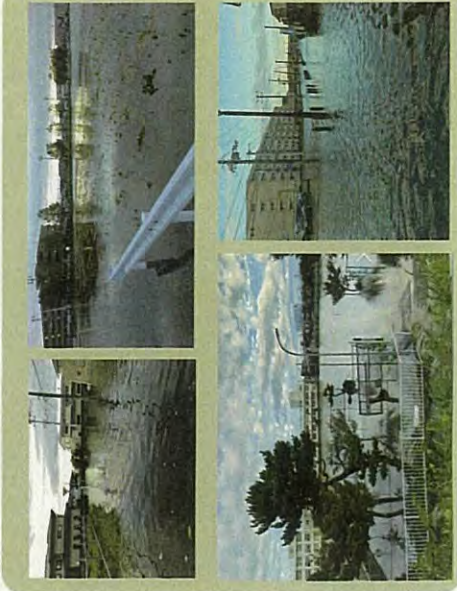
答弁 (下水道計画課長) 西原雨水ポンプ場につきましては土木、建築、機械等複数工種の工事を既存ポンプ場との調整を図りながら段階を踏んで実施するとともにポンプ場へ流入する新たな雨水幹線も併せて整備が必要であることから、現時点では令和9年度中の稼働を目指しております。増設ポンプ稼働までの対応としては、これまでどおり大雨時に緊急内水排除ポンプ等による対応を行うとともに、水路の浚渫等適切な維持管理に努めてまいります。また、栄地区への対応については、宮城野区役所と連携し道路側溝の整備等を行う予定しております。

質問 西原雨水ポンプ場の対応地域の排水区には令和9年に稼働し、解決の兆しが見える。一方で福住町、仙石、田子地域の冠水対策である小鶴雨水ポンプ場の進捗が見えないので解決の兆しがみえない。10年以上前から計画があるがこの計画の詳細と、現時点での進捗状況をお示しください。

答弁 (下水道計画課長) 小鶴雨水ポンプ場は福住町、仙石、田子地区等の雨水を梅田川に排水する施設として事業計画に位置付けており、東北学院の東側に建設する計画となっております。しかし完成までに長い期間と多大な事業費を要することなどから、具体的な事業化には至っていない状況です。こうしたことから浸水被害が大きい福住、仙石地区の被害軽減を図るため段階的な整備として平成28年に仙石排水ポンプ場を設けております。現在、当該地区の更なる浸水被害の軽減に向けて、農業施設を担当する経済局とも連携し検討を進めているところでございます。

質問 最後に市長に伺います。冒頭確認させて頂きましたが、次年度の予算は、直近の予算と比較しても約2億から3億円の増加のみとなり、今まで、この雨水排水施設の整備に関する議会のやりとりでは、市長の方から「より一層取り組んでいく」との答弁を続けてきたので、正直、もっと大胆な予算措置を期待しております。次年度の予算は直近の予算と比較してプラス2億から3億円でございます。そこで、未だに調査、検討についての基礎固めの時期がまだ続いているのか、本格的に予算をつける前段階なのか、このままでは東日本台風の年の二の舞を踏むことになるし、それが今年かもしられませんか。最後にこの整備に関する考えを市長に伺います。

答弁 (郡市長) 近年記録的な豪雨が続きまして全国的にも浸水被害が増加する状況にありまして、本市としても浸水対策は喫緊の課題でございます。令和3年度につきましては、仙台東西口の浸水対策に引き続き取り組んでいく他に、今後、優先的に整備を行う地区の計画の策定や設計に着手する等、雨水排水整備に関する予算を増額したところでございます。さらに局地的に発生する浸水被害を軽減するために下水道、道路、農林等の連携を強化して、横串をさして組織横断的に取り組む浸水対策の予算を新たに増設しております。今後市民の皆さまの暮らしの安全安心を高めるために国の補助制度を最大限に活用し、このような施策の整備を着実に進めながら対策のさらなる拡充等を図ってまいります。



令和元年東日本台風
左上：向田 右上：田子
左下：高砂中学校
右下：白鳥

予算等審査特別委員会

動画

